

沖縄復帰30周年 記念式典開催



政府と沖縄県共催の沖縄復帰三十周年記念式典が去る五月十九日、宜野湾市の沖縄コンベンションセンターで開催されました。

式典は初めて政府と沖縄県の共催で行われ、小泉内閣総理大臣、稲嶺沖縄県知事をはじめ、綿貫衆議院議長、倉田参議院議長、山口最高裁判所長官、ベーカー米国駐日大使、尾身沖縄及び北方対策担当大臣を含む九閣僚や各国代表、伊良皆沖縄県議会議長のほか、県内外から約千百人が参列しました。

第一部式典では尾身大臣の開式に続いて小泉総理が式辞を述べられました。小泉総理は、式辞の中で、新法に基づく沖縄振興計画を極力早期に決定するとともに、自立的発展と豊かな県民生活の実現を目指して沖縄県とも連携しつつ全力で取り組むことを表明し、大学院大学構想にも言及されました。

続いて、稲嶺県知事は「復帰三十周年を迎え、沖縄の優位性を十分発揮したフロンティア創造型の振興策への転換を進め、自立的発展への歩みを確実なものとする」との経済

振興への決意を述べられました。

このほか、海外県人会代表としてヘルナンデス・エミ子・マリアさん（北米県人会）、民間代表として、山城渉さん、渡久山須美恵さんの「復帰っ子」から、それぞれ復帰三十周年を迎えての思い、今後の沖縄の発展に若い世代としての情熱を持って関わり、尽力するとの決意が述べられました。

第二部記念レセプションでは、片山総務大臣が稲嶺知事に復帰三

十周年記念切手の贈呈を行ったほか、沖縄県出身の女優国仲涼子さんと俳優岸本祐二さんが復帰三十周年を迎えた故郷にエールを送られました。

また、アトラクションとして「復帰っ子」による琉球古典舞踊や未来を担う沖縄の子供たちによる躍動感あふれる創作演技等が披露されました。



▲「復帰っ子」による琉球古典舞踊



▲記者会見に臨む小泉総理



▲故郷沖縄にエールを送る県出身の女優国仲涼子さんと俳優岸本祐二さん



▲政府、県関係者が一堂に会して鏡割り（「第2部記念レセプション」にて）



▲式典に出席した小泉総理、稲嶺沖縄県知事と尾身沖縄担当大臣